### 日台関係を経済面からよりいっそう深化させる Γ 0 T 提携

14

# 兀総統が石垣から日台提携の具体案

常務理事・事務局長

柚ゆ

正敬が

## 八度目の来日は石垣島

れた。 する長女の李安娜さんや、その娘さん や交流協会の今井正理事長、本会会員 年連続の来日となった。石垣空港には は台中市でアメリカンスクールを経営 崩したため同行できなかったが、今年 などが日の丸の小旗などで出迎えた。 台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表 昨年の来日には曾文恵夫人が体調を 去る七月三十日から八月三日にかけ 李登輝元総統が石垣島を初訪問さ 総統を退任してから八度目、



沖縄県石垣市を初訪問の李登輝元総統にインタビュ る台湾メディア (7月30日、桃園空港)

二月に結婚した李坤儀さんとそのご主 くなった長男李憲文氏の娘で、 人の趙贊凱氏も同行してきた。 その他に、李元総統が董事長 昨年十 (理事

降り立たれた。また、若くして癌で亡

0

黄怡孝さんなどと一緒に石垣空港に

の中核を担った(本誌10頁参照)。 議が後援。 国青年市長会と地元の八重山経済人会 業実行委員会」で、 める「李登輝先生沖縄県石垣市招聘事 義隆・石垣市長が副代表世話人をつと 表世話人をつとめ、 で本会理事の吉田信解・本庄市長が代 主治医、 者 口克彦氏、 最高顧問に就任した前参議院議員の 今回の招聘は、 をつとめる李登輝基金会からは、 総勢二十人に及ぶ訪問団だった。 秘書長の王燕軍氏、 看護師、 四十代、五十代が受け入れ 理事の呉東昇氏やその関係 警護のSP九名が付 全国青年市長会会長 本会は共催 同会副会長の中山 秘書、そして

書や警護メンバ 長 懇篤なメッセージをお送りしてい 下見にも参加し、 昨年と同 原克彦氏と辻井正房氏、 本会から同 邪による高熱を発してやむなく断念 に同行される予定だったが、 の代理としての役割も担っ 本会は、 青年部 じ 顔触 長 李登輝基金会の 行したのは、 の杉本拓朗 1 れだ。 などと、 李元総統 梅原氏は渡辺会 氏 事 常 卓 務局 0) 七月半ば 務 行 JİΙ 几 理 直 崩 名 事 が 友久秘 長 台湾人入植者の苦労を称え、 台湾農業者入植顕頌碑前で る。 乗車 0 Ó 同行のご家族と記念撮影 (7月30日、名蔵ダム湖畔) 柚 0 梅 風

> 加する日台セミナーを開催した。 市 総統講演会当日の午前中、 する車輌や参加者の 当した。 町 村 議員を主な対象に約四 また、 七月三 ホテル + 手 都 道府 +配などを 日 人 0 県 が 李

本会からは、

渡辺利夫会長も全日

程

## 石垣訪問の決定経過

発端 にし、 今 は吉 回 11 0 田 来 ささか唐突に決定した。 行日は、 市長の発案による ままでと様相 その を異

昨年 会が た講 議員会館における国会議 て李元総統に打診した。 したいという計画だった。 0 市 吉 長や 演に 十二月初旬、 開 亩 か 市 長は、 議員を対象に、 れる今年六月に東京にお 深い感銘を受け、 昨年 その案を本会を通じ 七月の 全国市長会総 員を対象にし 吉田 今度は地 衆議院第 市 長は

0

昨年十

月二十

七日

に軽

V

梗塞を起

0 な

か

周知のように、

李元総統

は

61

れていた。

追い打ちをかけるように、

婚式に参列した以外

は

出を控えら ・儀さん 脳

全国 垣

青年 0 中

市

Щ

市長から表敬訪問

0)

話

が

持

退院後に令孫の

李坤 外

0

和気あいあいとした雰囲気の中で開かれた中山市長主催 の晩餐会で謝長廷代表の挨拶を受ける李元総統(7月30

日、ANA インターコンチネンタル石垣リゾート)

体力に自信を持てなくなるのも 力とはいえ、 するという日々だった。 は日本からの表敬訪問や修学旅行 異常寒波が台湾を襲 ではないかという判断だっ 当然ながら、 講演なども全て断 そんな状況のところに、 秘書たちも、 市 長会で副会長をつとめる 満九十三 11 かに人並み以上 東京までは無理 わ 14 一歳 0 て療養に専念 今年 0 几 高齢者だ。 |月半 应 無 月 ば ま 理 0) 生 体

談して石 ち上がった。 総統は訪 五月二日のことだった。 中山市長と一緒に李元総統を訪ねた。 問要請を即決され 垣 島に招聘する案をまとめ 吉田 市長は中山 この席で李元 .市長と相

澳貨が 台湾の は もっとも近い与那国島から蘇澳鎮まで は六十分。 五十五 んできた。 蘇澳鎮と石 るように、 1 この近さが石垣と台湾の交流を育 湾の桃 ルもあり、 一一キロ のすぐ東に位置してい 石 单 垣 分。 央山 から 地図で確認すればすぐ分か 園空港から石垣空港までは 垣は二三六キロ 石 石垣空港から那覇空港まで 那 メート 脈が見えるという。 垣島は台湾・ はるかに台湾の方が近 覇までは四 ١ ル。 晴 メート る。 宜蘭県 n た日 台湾に 丰 1 その には Ü 0 ル だ X

た。

石垣なら体力面

の負担も軽

61

埶

湾人が貢献してきたことをご存じだ

0

石 イナップ もとりわけ台湾との 0 垣に移り 李元総統は、 昭和八年ころから多くの台湾 iv 住み、 の栽培や缶詰製造などで台 石 戦 垣 縁が 中戦後を通じ、 は沖縄県 ?深く、 Ò なかで 日 人が 1本時



日台関係を経済面からよりいっそう深化させるため日台 [loT] 提携を提案(7月31日、ANA インターコンチネン タル石垣リゾート)

### また、 ことに心を動かされたようだ。 長会の市長や若い地方議 熱をそそいでいるという、 い気持ちにほだされたという。 なにより、 地方自治に若いエネルギーと情 吉田 市長と中山 員の前 全国青年 市長 で話 そ れ 0

## 台湾農業者入植顕頌碑

その足で、 石 垣空港に到着した李元総統 島内のほぼ真ん中に位置 行は す

> には水牛の像も建っている。 頌碑は名蔵ダム ル産業と水牛導入の功績を称える」 碑」に直行された。この「パイナッ たところに建つ る名蔵という、 かつて台湾人が入植 0) 「台湾農業者入植 一畔にあ ŋ, 碑 0) 傍 顕 頣 ブ

振って待ち受けていた。 会の方々が日の丸や台湾 を中心につくる琉球華僑総会八重山 顕 頌碑前では、 入植者の二世 0 小旗を打 やニ 世 分

苦労と功績を称えられた。 けてゆく。李元総統は台湾人入植 設テントに入られるも、 近くに上っていた。 差しはまさに真夏。 李元総統一 気温 熱風が吹き抜 も三五 行は 著 特 度

れた。 理事などが挨拶 表や交流協会の今井 した雰囲気が漂う。 どのご家族も紹介 コンチネンタ 中 の夜は、 李元総統は挨拶で曾文惠夫人な Щ 市 長が主 宿泊先のANAインター ル石垣リ Ĺ |催する晩餐会に臨ま 理 同 事長、 ゾー 和気あ 席した謝長廷代 トで開 梅原常 V あ かれ í V غ

## 日台提携の具体案を発信

たが、

石

垣島と台湾

0

歴史的な交流

B

李元総統

ならではの提言であろう。

け、 にもかかわらず五百人を超える人 る講演に聴き入った。 ら提言する日台交流 れた講演会には、 チネンタル 七月三十一 李元総 H 本ば 石垣リ 統 日 0 か ŋ 石 か Α 台湾 1 イシーズンで離島 NAインター 0 垣 モ 島 トにおいて開 デ 0 からも駆 歴 ル 史発展 と題す ij 々 コ が ン か 0 か

後にこの講演は大幅な修正 月刊 ボ イス」 十月号に掲載され が 加 えら

れ

琉球華僑総会八重山分会の歓迎会では終始リラックス、 踊りを終えた台湾移民の後裔たちをねぎらう李元総統 (8月1日、蓬莱閣)

旨だっ に応 経済 した協力体制に変わって ンター H 一台間に 用 分野にお た ネット」 可 能 おける地 (本誌4頁参照 であ ij である I ŋ る協 **地方自治** 将 力 関 来 係は、 体 は 11 0 くとする趣 Τ 同 を主 モ + 一の交流 将 来 0

て育っ でもI 培や水牛による耕作、 及してい 缶詰製造などが石垣島 台湾人が持ち込んだパ た歴史について述べ、 0 る Tが活用されてい パ 0 イナ イナッ る事例に言 大産業とし 農業分野 ッ ブ プ ル ル 栽

日本 市場 台湾 ある。 台湾は運命共同体の関係にあるとする て、 方策として、 を打ち出すことを提言された。 面からより 李元総統 を制 日本にIoTを軸とした経済政 0 生 0) 石 一産技術が力を合わ 覇することも夢ではな 垣講演では、 提言を盛り込 1 0 Í っそう深化させるため 日本企業 本 講 演 日 んでいることに 0 の特徴は、 台関係を経済 研究開発力と せ n ば 日 V 本と ع 常に 世 界

垣

Ш 分会が開 0 講 演 W 0 た歓 翌 日 迎晩餐会に臨まれ 琉球華僑総会八 た 重

うで 張り、 のを覚えられたからだろうか。 ら生きる同胞を見て心に深く感ずるも ことだった。 同行させていただい ともに下る話をされる場 するほど。 李元総統は終始、 100七年に このような李元総統を拝 八月二日 「台湾万歳」 石 垣の は、 0 途中で台湾語を交え、 垣 異郷 人々とも深く交わ 「奥の 生に関するセミナ 李元総統の要望 の地にしっ Þ とても気分がよさそ が細道」 て以来、 沖 葡 縄万歳\_ \$ した 探 かり 索 あ 初 で J ŋ の旅に め 0 0 なが 根を と発 ĺ 7 は、 声 涙 を Α 0

開き 台された。 家族とともにお元気に石垣空港 世話になることもなく、 石垣支部が石 ず、 牛につ 八月三日、 準備 台湾 W 7 て 牛 心 0 配 理 14 肉産業の参考として た緊急医 していた台風にも遭 解も深められた。 李 **と療施設** 元 総統 か 5 は 0 お